

教育活動DX

めざす子どもの姿(児童生徒の学び方の転換)

「ICTを効果的に活用し、自律的に学習する※姿」

デジタルのメリットを十分に理解し、使いこなすとともに、自ら問いを見出し、自分なりの方法で課題を解決し、仲間と交流しながらさらに思考を深め、新たな課題を見つけていく姿

As is (これまでの姿)	To be (めざす姿)
<ul style="list-style-type: none"> 学校の教室でしか学習することができず、時間や場所が限定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> Web 会議システムを活用したオンライン学習や、映像配信によるオンデマンド学習、クラウドを活用した協働的な学習で、時間や場所にとらわれず学習している。
<ul style="list-style-type: none"> 事前に教員から与えられた教材や資料など、課題解決のための情報収集の場が限られている。 	<ul style="list-style-type: none"> クラウドやインターネット等にアクセスすることで、自分が興味を持った情報や課題解決に必要な情報を収集することができ、個々に応じたスタイルで学習を進めている。
<ul style="list-style-type: none"> 学校やクラスといった固定されたメンバーで学習を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> オンラインシステムやグループウェア機能を活用することで、遠隔地においても学校間で交流することができ、多様な考えや価値観に触れ合いながら学習している。
<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒がグループ等で意見を交流し、一斉に決められたタイミングで、皆の考えをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションツールを活用することでリアルタイムに交流することができ、他の考えを参考にして自分の考えを整理・構築したり、オンライン上で意見を共有してまとめたりして学習している。
<ul style="list-style-type: none"> ノートやワークシートで学習し、紙媒体での記録となるため資料が膨大となり、学びの振り返りがしにくい。また、学習状況の定着度合いが把握しにくく、次の学習に活かしにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン学習コンテンツを活用することで、自動採点され、即時に解答・結果が分かるとともに、蓄積された学習ログにより、苦手部分の克服や得意分野を伸ばすなど、児童生徒が最適な学習を選択している。

※「自律的に学習する」とは、学習者が自ら定める目標に向け、必要な学習内容や方向性を決定し、学習状況等を振り返りながら、評価・改善を行い、学び続けていくこと。